

「合格体験記」

私は、岩手県立大学ソフトウェア情報学部の学校推薦型選抜で受験し、合格することができました。

中学の授業で簡単なアルゴリズムを作成する実習を通してパソコンに触れていき、次第に情報分野に興味を持ちました。そこで、情報分野について専門的に学ぶことのできる岩手県立大学のソフトウェア情報学部を目指し、準備を進めました。

最初は総合型選抜で受験をすると決め、出願のための書類作成を始めました。書類作成を始めたのが夏休みの少し前からで、作成を始めたのが遅かったこともあり、期限ギリギリになりましたが、自分で納得のいく書類を作成することができました。その後、第1次選考は合格でしたが、面接が苦手で、対策もあまり活かせなかったこともあり、第2次選考は不合格となりました。

その後はすぐに学校推薦型選抜に切り替え、書類作成を始めました。総合型選抜と比較すると文章量が少なくなる分、伝えたいことをある程度簡潔にする必要もあり、先生に何度も添削していただきました。結果として、期限はまたギリギリになってしまいましたが、志望理由や大学で研究したい事についてしっかりアピールできる文章が書けました。

書類作成後は基礎学力問題と面接の対策を並行して進めました。放課後に課外という形で、各教科担当の先生方に過去問の解き方や傾向について教わり、家で範囲内の復習を何度も行いました。基礎学力問題では、国語、数学、英語の3教科が範囲となり、その中でも私は数学を中心に勉強をしました。睡眠時間を削り、努力したため、体調を崩してしまい、面接の対策は十分ではありませんでしたが、先生からのアドバイスをしっかりと聞き、それを基に本番に臨みました。

試験当日は過去にないほど緊張しましたが、基礎学力問題の試験が始まった後は、これまでの積み重ねもあり、リラックスして向き合うことができました。面接についても、総合型選抜での失敗を反省し、質問の意図を考え、答えることができました。たとえ緊張していたとしても、面接官の質問を冷静に聞き、自分の伝えたいことを落ち着いて伝えることが大切だと感じました。

私は学校推薦型選抜を受験する中で、多くの方に支えられてきました。たとえどれだけ苦しくても、その支えがあったからこそ、合格できたのだと思います。

最後にアドバイスとして、受験の準備は早く行うこと、常日頃から体調管理には気をつけること、そして、自分の夢ややりたい事にしっかりと軸を持つことが大切だと思います。

「合格体験記」

私は、株式会社北日本銀行より内定をいただくことができました。

2年生の頃まで公務員志望でした。けれども公務員には向いていないと思い進路先を考え直しました。そこで家族から民間就職を勧められ、働くなら資格を生かした金融系の仕事に就きたいと思い、金融系の企業見学に参加し実際に働いているところを見比べ、北日本銀行を受験することに決めました。

受験先を決めてからは、SPIの対策に力を入れました。過去に受験した先輩の合格体験記を見て時間がないと書いていたので、1つの問題に時間をかけないように気をつけながら問題を解きました。私は言語分野が得意で非言語分野が苦手だったので、非言語分野の学習に力を入れました。わからないところは解き方や公式を教えてもらうことで理解に努めました。先生にお願いするとSPIのプリントはもらえますが、自分で問題集を買って解くことをお勧めします。

一次試験の内容は、面接、SPI、適性検査、健康診断でした。SPIは言われていた通り問題数が多く時間も少ないです。言語分野では聞いたことのない言葉が出てきて焦ってしまったので、日頃からわからない言葉が出てきたら調べるのが大切だと思いました。面接では、定番の質問はあまり聞かれず予想外の質問が多かったです。人事部長の方と会話をしている感じだったので、リラックスして面接を受けることができました。一次試験の2日後くらいに結果が届きましたが、二次試験まで一週間ほどしかなくすぐに二次試験の対策に移りました。

二次試験は、面接のみでした。常務の方との面接と知りとても緊張しましたが、常務の方がほとんどお話ししてくれました。なので、それに対してリアクションをとることや相槌を打つことを大切にしました。最後に質問はありますかと絶対聞かれるのでいくつか質問を用意しておいたほうがいいです。二次試験の三日後には結果が届き合格したと知ってとても安心しました。

就職活動で大事なことは、自分自身を理解することだと思います。面接で自分のことについて聞かれることがたくさんあるので、自分はどのような性格か長所は何なのか見つめ直し、わからない場合は、家族や友人に聞いてみてください。不安になることが多いと思いますが、先生にたくさん聞いて、自分を信じて頑張ってください！